

NS-3050 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
 点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
 本キットは以下の車種に対応します。
 ・名古屋市交通局3050形
 本キットは、トレーラー車専用です。
 動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
 このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
 ・ライトユニット : 1個/セット

【その他】
 ・説明書(本紙) : 1枚
 ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱


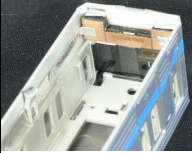


※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
 ※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直している導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかりと貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックナイフ
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ボンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒及び銀)

●取り付け手順

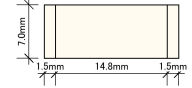

1. 分解する				2. 車体を加工する	
1-1 床板を外す	1-2 屋根を外す	1-3 側窓を外す	1-4 ライトレンズを外す	2-1 ライトレンズを加工する	
					
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	屋根を外す必要はありませんが、バンタ付きの車両など保護のために屋根を外す場合は、天井4カ所のフックを外します。	側窓を、前面との噛み合部をコジって外します。	ライトレンズを、ボディとの隙間を精密ドライバなどでコジって外します。勢いよく外れるので注意します。前面窓は外しません。	ライトレンズを、裏側の突起(側窓押え)の直下で切断します。カッターで何度もスジをつけて切断します。双方の断面をヤスリで整えます。	
(2-1つづき)				3. 床板を加工する	
	2-2 側窓を加工する	2-3 スカートを加工する			
	助手席側の側窓の前端下部の突起を切り取ります。運転席側は加工する必要はありません。		スカートの左右上部を切り欠きます。垂直方向はカプラー取り付け穴を避ける円弧より外側、水平方向は床板に差し込む溝より上側です。床板への取り付けは、ゴム系接着剤を併用します。	床板前端的両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカプラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。	
4. ライトユニットを取り付ける					
4-1 運転台を取り付ける		4-2 ライトユニットを組み立てる		4-3 ライトユニットを取り付ける	
					
ライトレンズを切り取った残りの透明パーツ(運転台及び側窓押え)を、両面テープを使って、前面窓の直下に取り付けます。	ライトレンズ中央の梁部分に両面テープを貼り、ライトユニットに取り付けます。	1.5mm×5mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライト上部のレンズとライトユニットの間に貼って遮光します。	ライトユニットをはめます。	2mm×3.5mmのポリエステルテープを2枚用意し、ライトユニットとボディ前面の間に貼って遮光します。	
5. 配線する					
5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る				5-2 側窓下をアルミテープで結ぶ	
					
本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。カッターで、4片のアルミテープを切り出します。		側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所のツメの上に載せます。		側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼ります。	
3mm×81mmのアルミテープを2本用意し、前後のツメの間を結ぶように貼ります。					

(5-2つづき)	5-3 ライトユニットに配線する	5-4 側窓下の配線の接続	
			
中央のツメは下側を通します。	1.5mm × 15mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、4mm × 4mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	5-1のツメ部分のアルミテープ、5-3のライトユニットのアルミテープを接続するために、3mm × 15mmのアルミテープを貼り重ねます。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●室内灯を取り付ける場合



●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>側窓に用意されているリブの後ろ面に両面テープ片を貼り、乗務員室仕切りを設置します。</p>

NS-3050 説明書 1.00
2020/06/09 1.00 初版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

【お問い合わせ先】
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15。店舗営業はしていません。
phone: 0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail: shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

